

2015年早春「偕楽園臨時駅開設」概況について

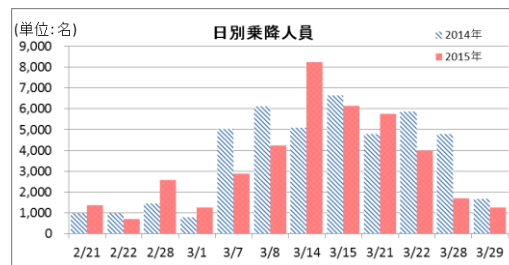
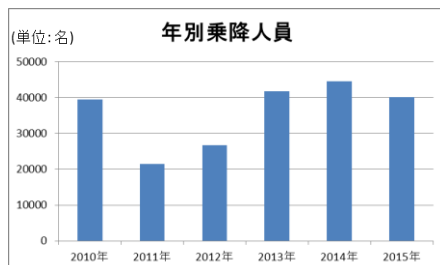
JR東日本水戸支社では、2015年2月21日（土）から3月29日（日）までの土日祝日の12日間、第119回「水戸の梅まつり」に合わせ「偕楽園臨時駅」を開設し、下りの特急列車・普通列車合計30本（1日当たり）が偕楽園臨時駅に停車いたしました。

本年は、3月14日に上野東京ラインが開業し、一部の列車は東京駅・品川駅から乗換えなしで偕楽園臨時駅まで運転いたしました。また、開業日の当日は歓迎お出迎えイベントを開催し、多くのお客さまにご利用いただきました。

1 偕楽園臨時駅利用状況

偕楽園臨時駅のご利用人数は、昨年より開設日が1日少ない12日間のため、期間合計で約40,100名（対前年90.0%）、1日平均で約3,300名（対前年97.5%）のお客さまに偕楽園臨時駅をご利用いただき、水戸の梅をお楽しみいただきました。上野東京ラインが開業しました3月14日（土）にはお出迎えイベントを実施し、今シーズン最高の約8,200名のお客さまに偕楽園臨時駅をご利用いただきました。

お出迎えイベントの様子



開設日	2/21	2/22	2/28	3/1	3/7	3/8	3/14	3/15	3/21	3/22	3/28	3/29
天気	晴	曇	晴	雨	雨	雨	晴	曇	晴	晴	晴	晴
開花状況	蕾	蕾	2分	2分	3分	3分	8分	8分	見頃	見頃	散り始め	散り始め

【歓迎 お出迎えイベントの開催】

品川駅発の「ひたち7号」から偕楽園臨時駅をご利用のお客さまを水戸駅長を始め、水戸の梅大使、水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」、黄門一座、水戸鉄道少年団がお出迎えいたしました。

2 びゅう旅行商品発売実績

偕楽園の散策と水戸市内での昼食をセットにした日帰りびゅう旅行商品「水戸の梅まつり」は、950名のお客さまにご利用いただきました。



設定期間：2/20～3/31